

つながる



学校と家庭の学び

「8の字学習サイクル」活動で自主的な学習習慣を育てる

香川県高松市立川東小学校

高松市立川東小学校では、学校と家庭が力を合わせ、自ら学びに向かう子どもを育てる

「8の字学習サイクル」活動に取り組んでいる。授業改善によって子どもの学習意欲を伸ばし、家庭で保護者からの声掛けを継続してもらうことで、自主的な学習習慣を身に付ける子どもが増えているという。

子どもの発達段階に応じた自主学習のあり方を工夫する

高松市立川東小学校には素直で真面目な子どもが多く、授業中は私語をせず教師の話に耳を傾け、宿題も期限を守って提出する。このように、教師から与えられた課題には熱心に取り組み半面、計画を立てて学習したり、苦手な教科に取り組んだりという自主性には課題が見られた。

そこで、2010年度から、「8の字学習サイクル」活動を全学年で行っている(図1)。これは、学校

と家庭が両輪となり、授業と家庭学習の両面から、子どもの自主的な学習習慣を育成するための取り組みだ。榎木俊幸校長は、次のように話す。

「学校と家庭が密接に連携することで、学力面と意欲面の2つの効果が期待できると思います。学力面では、学校で学んだことを家庭でも繰り返し学習することで、学習内容の定着が図れます。意欲面では、学校と家庭で学習したことが、教師と保護者それぞれに認められ、褒められることで、子どもの意欲が高まると考えたのです」

授業では、教師の発問を精選し、子ども同士の学び合いや調べ学習を、全学年で増やした。そのねらいを、亀井健男教頭は次のように話す。

「ただ教師に教えられるだけでなく、自分で考える楽しさを知れば、子どもは『もっと学びたい』と感じるようになるはず。家庭学習への意欲にもつながるように、まずは授業を充実させたいと考えました」

家庭学習では、子どもが自然に学習に向かえるように、発達段階に応じて学習課題の出し方と保護者のかわり方を次のように工夫した。

低学年.. 宿題を中心に与える。保護者にはやったことを確認してもらう。

中学年.. 学習の例を与えながら自主学習に取り組ませる。保護者には見守ることも意識し始めてもらう。

高学年.. 自ら課題を決め、見通しを立てて自主勉強をさせる。保護者には手は離しても目は離さないようにしてもらう。

保護者には、毎月の学年だよりで協力を呼び掛けた。また、授業参観後に管理職や担任が「8の字学習サイクル」活動を行う理由を伝え、担任を交えた保護者同士で家庭学習に

ついて話し合う時間も設けた。

「学校ぐるみで自主的な学習習慣
定着に取り組んでいることを、保護
者にしっかりと伝え、理解してもら
いたいと思いました」（亀井教頭）

学校がエンジンとなり 家庭との連携を推進する

具体的な家庭学習のヒントとなる

「家庭学習の手引き」にも工夫を凝
らした。それまで2種類作っていた
保護者用と子ども用を合体して、A
4判用紙1枚に簡略化。ぱっと見て
内容がわかるように、学年×10+10
分の学習時間、「テレビは消して」「ま
ず宿題!!」「最後まででいねいに!!」
という家庭学習に取り組み姿勢への
呼び掛け、学習内容の紹介に絞り込
んだ。学習内容の紹介では、教科書
習だけでなく、テストの復習、読書
日記など、どのようなことをすれば
よいかを、発達段階に応じて幅広く
示した。これを自主学習専用の「パ
ワーアップノート」に貼り、常に確
認できるようにしている。

また、広めたいと思う子どもの自
主学習の取り組みは、学年だよりで
積極的に紹介すると、2学年担任で
現職教育主任の須田礼恵先生は話す。

「友だちがどのように学習してい
るのかを知ること、子どもは『自
分も頑張ろう』と思うようになるは
ずです。また、保護者が掲載された
実践を見れば、子どもへの具体的
声掛けに役立つと考えました」

夏休みの自主学習を充実させるこ
とに力を入れていることも、同校の
特徴だ。

夏休み直前に行う個人懇談会では、
保護者に夏休みの宿題を伝えている。
与えられた課題にしっかり取り組む
習慣を付けることが目標の1・2年
生の保護者には宿題そのものを、自
主的な学習意欲を伸ばすことが目標
の3年生以上の保護者には宿題一覧
表を渡して、毎日机に向かえるよう
家庭での声掛けをお願いする。

「個人懇談会では、子ども
の頑張りと成果を認め、褒め
てから、課題を伝えるように
しています。その際も、家庭
に全てお任せするのではなく、
学校で工夫していることを伝
え、保護者の参考になること
を意識しています。学校と家
庭が両輪ではありますが、エ
ンジンを掛けるのは学校だと
思っています」（須田先生）

香川県高松市立川東小学校

◎1872(明治5)年開校。香川県中央部に位置する。
伝統芸能「農村歌舞伎」体験学習を行うなど、地域と連
携した取り組みが盛ん。2010年度、香川県の学力向
上対策モデル校に指定されたのをきっかけに、子ども
の学習習慣定着の取り組みを始めた。

校長 榎木俊幸先生
児童数 399人
学級数 15学級(うち特別支援学級2)
〒761-1706
所在地 香川県高松市香川町川東上1865-8
TEL 087-879-2012
URL <http://www.edu-tens.net/>
syoHP/kawahigasiHP/



高松市立川東小学校校長

榎木俊幸

まさき・としゆき

「知らないことを探究する楽し
さを、子どもたちに伝えてい
きたい」



高松市立川東小学校教頭

亀井健男

かめい・たけお

「子どもも教師も集中して学
習に取り組めるように、常
に環境整備を心掛けている」



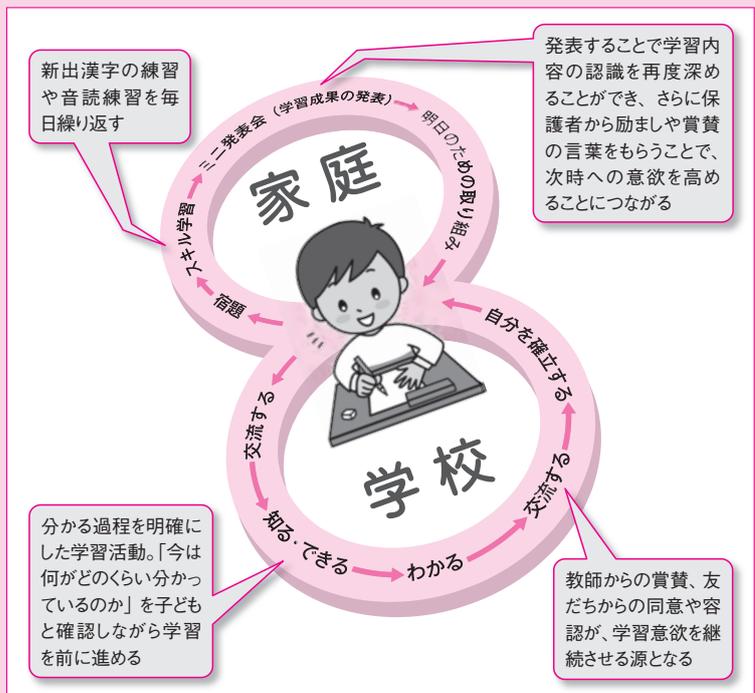
高松市立川東小学校

須田礼恵

すだ・あやえ

2学年担任、現職教育主任。
「子どもと共に学び続け、成長
し続けられる教師でありたい」

図1 「8の字学習サイクル」活動の例(5年・国語「大造いさんとがん」)



8の下部が学校、上部が家庭を表し、2つの交点に子どもが位置する。学校と家庭が両輪となり、子どもの学習意欲を伸ばす仕組みをつくるために考案した。「分かる」という喜びを感じられるような授業を行い、子どもが自発的に家庭学習に取り組めるようになることを目指している。「8の字」に入る具体的な活動は、学年や単元によってさまざまなバージョンがある

*同校の資料を基に編集部で作成

*プロフィールは2013年3月時点のものです

図2 がんばり宣言書(5年生)



*同校の資料をそのまま掲載

最初に夏休み中の家庭学習時間を宣言。パワーアッププランに夏休みの基本となるスケジュールを記入する。その後、夏休みの指定期間に、がんばり記録に目標を達成できたかどうかを記入。夏休みの最後の日に、子どもが自分で振り返り、保護者にコメントをもらう

更に、子どもが夏休み中の自分の生活を記録するプリントとして、1・2年生には「学習カレンダー」、3年生以上には「がんばり宣言書」(図2)を配布している。

「学習カレンダー」は、自主学习が出来た日は○、出来なかった日は×を記入する。「がんばり宣言書」は、まず1日の学習時間と起床・就寝時刻などの目標を書き、夏休みの最初

と最後の1週間について、目標が達成できた日は○、出来なかった日は×を記入。いずれも、夏休み明けに担任が回収する。

努力する面白さに気付けば子どもは自ら学びに向かう

「8の字学習サイクル」活動を始めてから、自主学习に意欲的に取り組む子どもが多くなった。子どもへ

のアンケート調査では、「学校や家でこつこつと学習をすることができている」と回答した割合が、以前は61%だったが、12年11月には75%を占めるまでになった。

「子どもが努力することの面白さに気付いたのだと思います。『宿題だから取り組む』から『自分のために学習する』へと、意識が変わっていることを感じます」(亀井教頭)

保護者の間でも、自主学习が話題になるようになった。

「学級懇談会などで、私たち教師が何も言わなくても、保護者から『もっと自主学习に取り組ませるために保護者として出来ることはないか』といった質問が増えていきます。保護者自身がかかわることで子どもの学習意欲が高まっていると、実感しているからだと思います」(須田先生)

榎木校長は、今後について次のように話す。

「学習習慣を育む取り組みを始めから3年になります。徐々に成果が表れてきました。子どもの学力の根幹となる活動ですから、現状に満足せず、更なる向上を目指して、これからも先生方と力を合わせていきたいと思っています」

夏休み前の学級活動でお使いいただける副教材を無料でご提供します

ベネッセは2007年度から「家庭学習に関する冊子」などを先生方やご家庭に無料で提供する「学び応援プロジェクト」を実施しております。2012年度は、のべ約15,000校から約138万冊ものお申し込みをいただきました。

2013年度は、高学年の児童向けに、夏休みの上手な過ごし方を指導いただく際に役立つ副教材を無料でご提供いたします。夏休み前のご指導に最適なセット教材です。ぜひ貴校の教育活動にお役立てください。ただ今、申し込み受付中です。詳しくはホームページまたは本誌同送のチラシをご覧ください。

学校&家庭 学び応援プロジェクトホームページ <http://www.benesse.co.jp/manabiouen/>

未来に進むちからを育むプロジェクト。
ベネッセの学び応援

申し込み締め切り

2013年

7/12 金